

土浦ケーブルテレビ株式会社 放送番組審議会 議事録

【日 時】 2013年4月2日(火) 午前11時30分開会

【場 所】 土浦ケーブルテレビ株式会社 2階会議室

＜放送番組審議会委員＞ (五十音順)

ご出席

岩瀬 市朗様	木村 宏守様	楠 康夫様
坂本 榮様	中村 忠夫様	宮本 幸男様
横山 豊教様	計7名	

審議会会長選任

委員の互選により会長は、中村委員になった。

事業者側から現況報告及び放送法改正、J:COMチャンネルの報告があった。

【質疑応答・意見交換】

(KDDIとの関係性について)

委員 KDDIとの関係でその将来像につき、イメージがつかめないのので、説明して欲しい。

事業者 当社にとっては、有線事業に加え、より簡便に当社サービスをご利用できるための無線化の推進やコンテンツの互換性などの効果が期待できる。

営業面では、KDDI、J:COM 双方から契約のパス出しの相乗効果が上がっている。

具体的には、auショップ(県下10箇所)からJ:COM加入契約、J:COMは「スマートバリュー」によるKDDIへの契約化につなげ、利便性を高めている。

(J:COMの新規取り組みについて)

委員 報告を聞くと、J:COMの新たなチャレンジは、順調にしている印象を受けた。

(J:COMチャンネルのありかたについて)

委員 NPO法人を主催していると共に、J:COM 茨城のコミュニティ担当としては、J:COMが地域の皆様に資する番組づくりを推進している点は好感が持って捉えている。しかも、NPO活動を如何に広めていくかについてノウハウをよく知らない我々としては、このようなメディアに乗り、地元の方に有意義な情報を与えられる機会を持つことは重要である。

「マラソン教室」は、こうして一緒に作ってきた。

ひとつお願いとなるが、土浦以外の市町村、特に観光地でもあり、我々の活動拠点でもある阿見町の取材が少ないようなので、是非、観光地・阿見町を取り上げた番組化を地元は

望んでいる。

事業者 ご意見を今後の番組制作に活かしたい。

(議会中継の放送時間について)

委員 土浦市議会の放送時間だが、主な視聴者層は、高齢の方も多く、22:00 台は遅いのではないか？ もう少し早い時間帯を希望する。

(防災手引きの補助として J:COM への期待)

委員 少子高齢化が地元でも進行している。300 世帯・600 名中、70 歳以上が 144 名を数え、1/4を占める状況。こうした中で、行政から配布される「防災の手引き」は、高齢者にとっては読めない方が多い。いざと言う時の手助けを J:COM にも期待している。

(J:COM チャンネルの番組と市議会中継の放送時間について)

委員 地域情報番組「マイシティ土浦」は、地元情報と話題性があり、評価している。市議会中継は、ノーカットで放送されており、市民の役に立つ。ただ、放送時間が夜遅いので、早い時間での放送を希望する。

事業者 市と協議して編成時間を定めている。別途協議、検討したい。

(今後の J:COM に期待する)

委員 昨年は、「Clean Up Our Town」にも参加し、情報番組のインタビューにも出演した。J:COM が取り組んでいる「ニコロジー活動」も改めて実感した。このような地道な活動を経ることで、ますます発展していくと感じる。

<意見交換>

事業者 情報取得手段の多様化や手軽さからテレビ離れの危機が指摘され視聴時間の短縮化が進行していると言われている。したがって、今こそ、他のメディアとの差別化を図れる地元還元番組等、番組編成の工夫が必要である。

委員 TV、ネット、固定電話のフルサービスでのセット料金は？

事業者 「お得プラン 160M」という最高スペックのフルサービスパック商品は、9,500 円(税込)で提供している。

事業者 若者の新聞離れは進行しており、またテレビもテレビ受像機ではなく、PCを通した視聴となっていたり、テレビ受像機がゲーム向けのモニター化への変化と使い方が多様化している。家電量販店での「新生活キャンペーン」と銘打った広告を見るに、そこで揃える家電製品にてもテレビ不要のケースも散見される。

事業者 土浦ケーブルテレビの加入世帯は、年々右肩上がりではあるものの、成長鈍化は否めなく、これ以上の解約を抑える手立てとして、「J:COM おまかせサポート」サービスを開始した。これは、月額525円(税込)で個々のお客さま毎にPC設定から実際の操作までインターネットをより快適にご利用していただける窓口を開設したものである。

委員 土浦市議会だけでなく、他の市町村議会中継をすることで、議場における緊張感を醸成できるはずである。もっとも、その中継を申し入れたとしても、議員にあっては必ずしも賛同するとは限らず、結果的に合意が得られないケースもある。しかし、テレビ中継されることで、議会の質も向上するメリットもあるので、検討願いたい。

まとめ

委員 J:COM の技術系、営業系とそれぞれ接触する機会があったが、丁寧な説明を受け非常に安心した。より一層の会社の発展を確信している。

以上